

**「地域密着型金融」の取組み状況について**

**(平成19年4月～20年3月)**

山梨県民信用組合では、リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラムのもと、平成17年度～18年度の2年間を「重点強化期間」と位置付け、「地域密着型金融」の更なる機能強化を図ってまいりました。

平成19年度からは、「地域密着型金融」を恒久的な取組みとして推進し、地域社会により密着した金融機関として、事業者のみなさまに対して事業の発展・再生に対する支援体制の強化に取り組むとともに、地域利用者の利便性の向上に努めております。

つきましては、平成19年度（平成19年4月～20年3月）の取組み状況を別紙要約様式に取りまとめ、掲載いたしましたのでご高覧下さい。

## 地域密着型金融の取組み状況

### 平成19年度(19年4月から20年3月)の取組み状況

平成19年度からは、「地域密着型金融」を恒久的な取組みと位置付け、更なる機能強化を図ってまいりました。利用者の満足度の高い評価が得られるよう、地域の特性を踏まえた創意工夫した施策を実践することを柱とし、「取引先企業への支援強化」「中小企業に適した資金供給手法の徹底」「地域経済への貢献」等について取組みました。

#### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

##### 創業・新事業支援に関する取組み

信用組合の「強み」である地域社会に密着した営業活動を生かし、営業係を中心に能動的に活動を行っており、中小企業に対し、山梨県の制度融資を活用して創業、起業に対する融資を行いました。

##### 取引先企業への経営改善支援に関する取組み

平成19年度の期首に経営改善支援先を抽出し、企業支援担当部署の職員を中心として支援先に対して経営改善指導を行い、また必要に応じ経営改善計画を策定するなど、経営改善に取組みました。

##### 事業再生に向けた取組み

山梨県中小企業再生支援協議会の担当者を講師として研修会を開催するなど、同協議会との連携を強化し、持ち込みの協議案件も増加、再生計画の策定も実行いたしました。

#### 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金提供手法の徹底

##### 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

不動産担保・保証に過度に依存しない融資を推進するため事業キャッシュフローを重視した融資の促進に取組むとともに、企業分析力の能力向上に取組みました。

##### 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成の取組み

企業の財務分析力・経営管理分析力を習得するため、外部研修への積極的な参加、また、融資担当者を対象とした組合内部の勉強会を定期的に開催するなど、職員的能力向上に取組みました。

#### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

##### 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

山梨県韮崎市商工会との契約により加盟している「風林火山ビジネスネット」をとおして、当組合の取引先のビジネスチャンスの拡大に取組みました。

##### 地域活性化につながる多様なサービスの提供

地域活性化につながるサービスとして、地域・商店街活性化事業を行うため営業店の施設を開放するなど、地域社会への貢献に取組みました。

**「地域密着型金融」の取組み状況**

個別項目	取組み内容	取組み結果等
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1) 創業・新事業支援に関する取組み		
<p>融資審査態勢・新事業支援の強化及び外部機関との連携強化等</p>	<p>・信用組合の「強み」である地域社会に密着した営業活動を生かし、営業係の訪問日誌を活用して、創業・新事業の案件発掘に繋げる。                      ・起業家に対して山梨県の制度融資、政府系公庫融資等有利な条件の資金調達方法を積極的に紹介するとともに、融資の実現に結びつく支援を行う。                      ・他の金融機関との連携を強化し、これらの金融機関との協調融資に積極的に取組めるような、専門的技術に対する審査能力を向上させるため、内外の研修に積極的に参加し職員の能力向上を図る。</p>	<p>・山梨県の制度融資を活用し、7先83百万円の創業・新事業支援先に対する融資を行った。                      (注) 創業・新事業支援に資金使途を限定した融資商品の実績のほか、当組合融資等のうち創業・新事業支援としての実績の把握が可能なものも含まれています。                      ・山梨県信用組合協会が開催した「取引先の情報収集・活用」「目利き力強化」等の研修に参加し職員の能力向上を図った。                      ・財団法人やまなし産業支援機構の「中小企業新技術・新製品紹介冊子」を職員に配布し意識の改善を図った。</p>
(2) 取引先企業への経営改善支援に関する取組み		
<p>経営改善支援先に対する経営改善指導及び経営改善計画の策定</p>	<p>・年度の期首に経営改善支援対象先を検討し抽出する。                      ・経営改善支援先の財務内容の分析、及び経営上の問題や課題を把握し経営改善指導を行う。また、必要に応じ経営改善計画・返済計画等の策定を行い経営改善支援先の事業内容の改善に取組む。</p>	<p>70先の経営改善支援先を抽出し経営改善支援を行った結果、9先の債務者区分がランクアップした。</p>
(3) 事業再生に向けた取組み		
<p>○事業再生に向けた積極的取組み及び外部機関の事業再生機能の一層の活用</p>	<p>・山梨県中小企業再生支援協議会との連携を強化し、協議案件の増加を図る。                      ・事業再生に関する知識等の習得のための研修を継続的に行う。                      ・再生計画の策定と、計画の進捗状況の管理を中心に取組む。                      ・経営改善支援先企業に人材を派遣し、経営内容の改善を図る。</p>	<p>・山梨県中小企業再生支援協議会との協議案件数は8先、うち1先について再生計画の策定を行った。                      ・山梨県中小企業再生支援協議会の担当者を講師に招いて、企業再生に関する組合内の内部研修を行った。                      ・山梨県中小企業再生支援協議会等に依らず、組合独自で3先の経営改善支援先について再生計画の策定を行った。                      ・経営改善支援先に長期的に人材派遣を行い、経営内容の改善を図っている。</p>
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金提供手法の徹底		
(1) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み		
<p>キャッシュフローを重視した融資の推進及び企業分析能力の向上</p>	<p>・決算書等を分析し、企業や事業者が有する成長性を見極め、将来的に生み出すキャッシュフローを重視した融資を行う。                      ・融資審査時に使用する各種資料について、キャッシュフロー等の内容を明確にできる様式に変更する。                      ・キャッシュフローに着目した融資を推進するため、決算書等の分析力の向上に取組む。</p>	<p>・従来の担保・保証に依存した融資案件ではなく、事業内容によっては事業から生み出されるキャッシュフローに立脚した融資案件が策定されている。                      ・融資審査における添付資料についてキャッシュフローを明確化した資料を作成することにあわせ、その他の資料についても見直しを行い、深化した与信判断を行っている。                      ・平成19年10月に行われた山梨県信用組合協会主催の「財務分析とCF予測」研修に営業店長等16名が参加、また、平成19年9月に実施した組合内部研修「決算書の見方について」に融資担当者等70名が参加し、決算書等の分析力の向上を図った。</p>
(2) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み		
<p>融資審査能力等の向上及び人材育成のための研修等</p>	<p>・全国信用組合中央協会、山梨県信用組合協会等の研修会に積極的に参加し、融資担当者等の能力向上を図る。                      ・融資担当者等の実務能力に見合った内部研修を、毎月1回の予定で開催し、融資担当者等の能力向上を図る。                      ・融資担当者全員が、テキスト(業種別事例による融資力トレーニングブック)の決算書分析問題に取組み、各業種別の企業分析力・決算書分析力の向上を図る。</p>	<p>・全国信用組合中央協会主催の「企業再生支援」等の研修に参加した。(年3回実施・参加者計8名)                      ・山梨県信用組合協会主催の「経営改善・企業再生支援」「目利き力強化」等の研修に参加した。(年9回実施・参加者計160名)                      ・融資担当者等の実務能力の向上を図るための組合内部研修について、平成19年度は「企業再生」「決算書の見方」「信用保証協会事務」等の研修を8回開催し、延べ695名の職員が参加した。                      ・平成20年2月よりテキストを利用し、毎月1業種毎に決算書分析問題に取組み企業・決算書分析力の向上のための取組みを行っている。</p>

個別項目	取組み内容	取組み結果等
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面的」再生への取組み		
「風林火山ビジネスネット」の推進	<p>・ 荏崎市商工会が主催する「風林火山ビジネスネット」への加盟を継続し、当組合の取引先事業者の広域的な販路拡大と受注の増大を図る。</p>	<p>「風林火山ビジネスネット」と当組合ホームページが相互リンクすることにより、当組合の取引先事業者のビジネスチャンス獲得の機会を提供している。  また、「風林火山ビジネスネット」が新たに開設したサイト「山梨甲斐もの市場」は、女性を中心とした個人向けサイトであり、当組合の取引先事業者だけでなく個人顧客への情報提供の場となっている。</p>
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供		
地域活性化のための営業店施設の開放	<p>・ 営業店の施設（ホール、駐車場等）を地域に開放することにより、地域社会や地域経済の活性化へ貢献する。</p>	<p>地域・商店街活性化事業として以下の営業店施設を開放した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鯉沢支店2階ホール  参加者 約100名</li> <li>・ 峡南社会福祉協議会定期総会及び講演会  参加者 約100名</li> <li>・ 鯉沢町教育委員会（夏休み子供映画会）  参加者 約150名</li> <li>・ 鯉沢町商工会（落語会の開催）  参加者 約150名</li> </ul> <p>本店会議室  ・ 商店街総会  参加者 約30名</p>
地域のイベントへの参加、企業ボランティア等	<p>・ 甲府市で開催される「甲府大好き祭り」に参加し、地域社会活動への貢献を行う。  ・ 山梨県の「リーグサッカーチーム「ヴァンフォーレ甲府」の協賛広告看板の設置等を行い、地域の体育奨励事業に貢献する。  ・ 山梨県内の多数の団体、企業等が協賛する「甲斐の国 風林火山博」に、企業ボランティアとして運営スタッフに加わり山梨県のイメージアップ及び経済活性化に貢献する。</p>	<p>・ 平成19年8月に開催された「甲府大好き祭り」のイベントに当組合の役職員30名が参加した。  ・ 体育奨励事業の協賛として、「リーグサッカーチーム「ヴァンフォーレ甲府」の協賛広告看板の設置と公式戦観戦チケットの購入を行った。  ・ 平成19年1月から平成20年1月まで開催された「甲斐の国 風林火山博」に、当組合の職員が企業ボランティアとして運営スタッフに加わった。（毎週月曜日・1名）</p>